

市と同社の協定は25年12月23日に締結。市は設置場

市が電気自動車（EV）の普及促進と安定的・継続的な充電サービスの提供を目指す「電気自動車専用充電設備導入事業」で市と極東開発パーキングが協定を締結した。3日、記者発表が行われ、市の石川博幸企画政策部長と同社の新居早人DX副本部長が事業概要などを説明するとともに、2026年度内には市指定の8カ所に充電設備を設置し、供用開始を目指すを発表した。

市内8カ所 市と極東開発が協定締結

EV充電設備の設置へ

所の提供と広報活動、同社「ポートサービス」などを行うは設備導入や機器管理、サ—う。



協定締結を発表した石川部長（左）と新居副本部長（右）

3日、市役所

設置場所は▽宮古島海中公園▽パインガマ海浜すこやか公園▽市熱帯植物園前駐車場（730記念之塔近く）▽JTAドーム宮古島▽竜宮展望台（来間）▽うえのドイツ文化

村▽地下ダム資料館（城辺福里）▽宮古島海宝館（城辺保良）の主に観光地。充電時には料金が発生する。利用はスマートフォンか認証キーを使用するが、島内では主に認証キーを使用する予定で、レンタカーには各1台ずつに認証キーを準備するほか、地域住民へは認証キーを貸与する予定だという。

利用料金については1ギ—66円を想定しているが、同社ではさまざまな取り組みを企画しており、収益が上げれば利用料金の値下げを行うという。

新居副本部長は「脱炭素社会への対応が求められる中、EVは環境面だけでなく地域の移動手段や観光、産業振興にも大きな可能性を持っている。私たちは、単に充電設備を設置するだけではなく、デジタルビジネスを活用し、利便性の向上、地域資源との連携を通じて、住民の皆さん、来訪者にとって使われ続ける仕組みを構築していきたい」と話した。

石川部長は「市有地の一部を活用し、民間の柔軟な発想と技術力による充電サービスの提供により、事業を進めていくことで、市における充電インフラ整備の課題についても解決策を生み出すことができると考えている。市としても地域の皆さんにとって価値あるサービスが着実に広がるよう力を尽くしていく」と語った。

宮古毎日新聞

発行所

（株）宮古毎日新聞社

沖縄県宮古島市平良字西里337

郵便番号906-0012

郵便振替口座17040-8593551

私書箱・宮古中便第19号

©宮古毎日新聞社 2026

代表 0980-72-2343

FAX 0980-72-3733

那覇市局 098-861-9091

FAX 098-861-9092

ホームページ <https://www.miyakomainichi.com>

info@miyakomainichi.co.jp